

おしえて！

# わん🐾にゃん通信



2017,07,20

真夏日が続いています、熱中症にはご注意ください。

今回はわんちゃん、ねこちゃんのお家でもできる簡単なバイタルサインのチェックの仕方について簡単にいくつかお話します。バイタルサインとは、生きていることを示す基本的なサインのことです。一般的には、呼吸・体温・脈拍・痛みの評価・栄養状態の5つを指します。

病院に来た時にチェックしていますが、緊張などにより安静時とは差が出来てしまいます。お家でチェックできれば病気の早期発見などにも役立てることができます。

## ①呼吸

呼吸数は安静時（寝ている時など）に1分間おなかの上下回数を数えます。1分間数えるのが難しい時は、15秒間数えて4倍したり、30秒間数えて2倍にしたりします。

わんちゃんの標準呼吸回数は小型犬で20～30回/分、大型犬で15回/分、ねこちゃんでは20～40回/分と言われています。呼吸数が多い場合は、呼吸器系や心臓疾患など様々な病気の可能性があります。

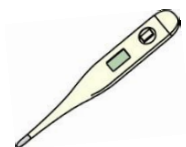
呼吸をしている時に音はしませんが、鼻が短い子や小型犬種はのどや気管などの病気によりガーガーとガチョウの様な音を立てることもあります。わんちゃんは体温調節の為に口を開けて浅く速い呼吸(パウンティング)をしますが、ねこちゃんはしません。しかし、動物は人間のように口呼吸はできません。もし、ねこちゃんが口を開けて呼吸をしていたら重症です。



## ②体温

体温は肛門に体温計をいれて直腸温を測定します。人間のように脇の下などで測ることはできません。

安静時の基準体温は約38.0度と人間よりも高めです。個体差や年齢差もありますが、若い子の方が高めです。体温が高い場合、感染や炎症などがある可能性があります。体温が37.5度以下、39.0度以上の場合、低体温の可能性や発熱の可能性があるので来院をおすすめします。



### ～直腸温のはかり方～

体温計にオリーブオイルなどをつけてあげるとスムーズにできます。尾を持ち上げて、肛門に体温計を3～4センチいれます。正確な体温を知るには3分以上入れることをおすすめします。体温計がきちんとはいっていなかったり、測定時間が早すぎたりすると正確に測ることができません。肛門に入れるので、嫌がる子もいます。無理せずにおこなってください。



### ③脈拍(心拍)

脈拍は安静時に足の付け根の股動脈に指をあてて、1分間測ります。1分間測れないときは、15秒間数えて4倍したり、30秒数えて2倍したりします。股動脈がわかりにくい時は、心拍を数えたり、聴診器などを利用したりします。ただし、不整脈などの異常がある場合、心拍と脈拍に差が出来てしまいます。

わんちゃんの安静時の平均脈拍数は小型犬で80～120回/分、大型犬で60～90回/分、ねこちゃんでは110～180回/分とされています。測定時は、回数だけでなくリズムや強さ等にも注意します。



### ④痛みの評価

わんちゃん、ねこちゃんは言葉を話しません。そのため、痛みを行動や表情で表します。しかし、昔の名残で痛みを隠してしまう子も少なくありません。普段の性格や行動との違いを見つけることが大切です。

#### ～行動の変化～

警戒心が強くなり逃げようとする  
背中を丸め一定の姿勢から動かない  
間欠的に鳴く、わめく  
患部を触ると吠える、攻撃する

落ち着かずにウロウロする  
横になって眠れない  
呼吸が速い、荒い  
食欲不振もしくは廃絶



### ⑤栄養状態

種類などにより理想体型には差がありますが、太りすぎも痩せすぎも病気です。全身を触って、ボディコンディションスコアなどを確認します。たくさん食べても痩せてしまったり、食べなくなったりすると病気かもしれません。病院で検査を受けることをお勧めします。



安静時のわんちゃん、ねこちゃんのバイタルを知っておくことで治療や健康維持に役立てることもできます。お家でチェックしてみてくださいね。

